

令和 5 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
及び地域公共交通計画の評価結果 概要（全体）

武豊町地域公共交通会議

平成 2 1 年 4 月 3 0 日 設置

令和 4 年 4 月 武豊町地域公共交通計画策定
（計画期間：令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月）

令和 4 年 6 月 2 9 日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和 5 年 1 2 月 ● 日 令和 5 年度評価結果送付

1. 【Plan】協議会等を目指す地域公共交通の姿①

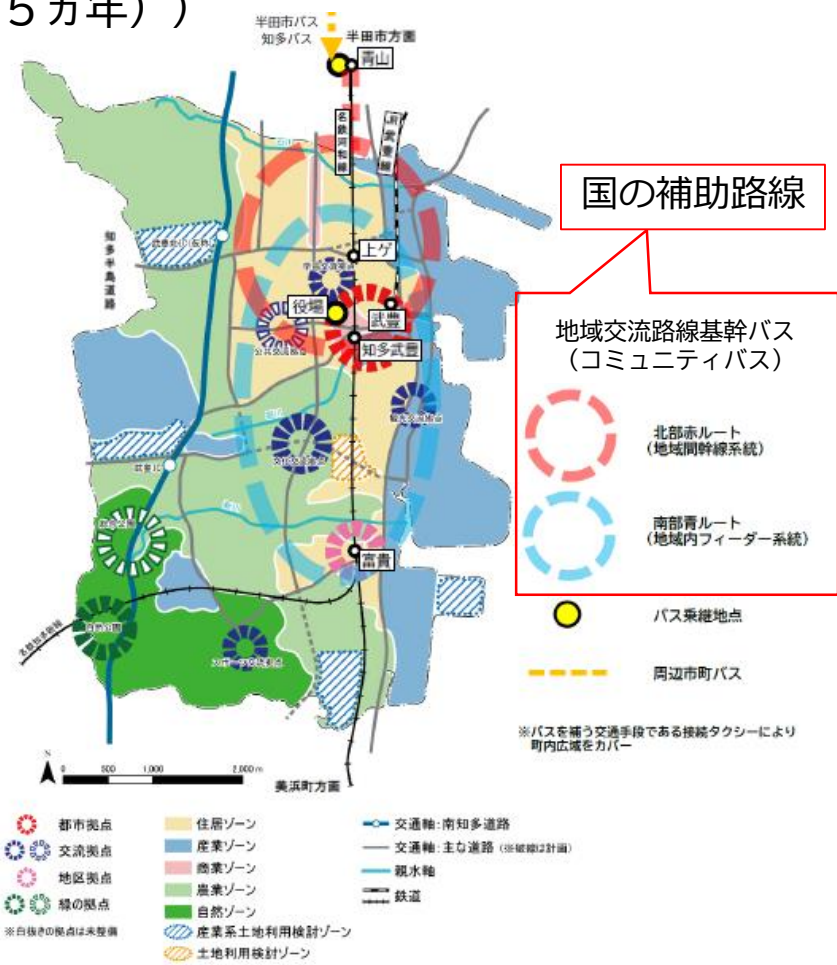
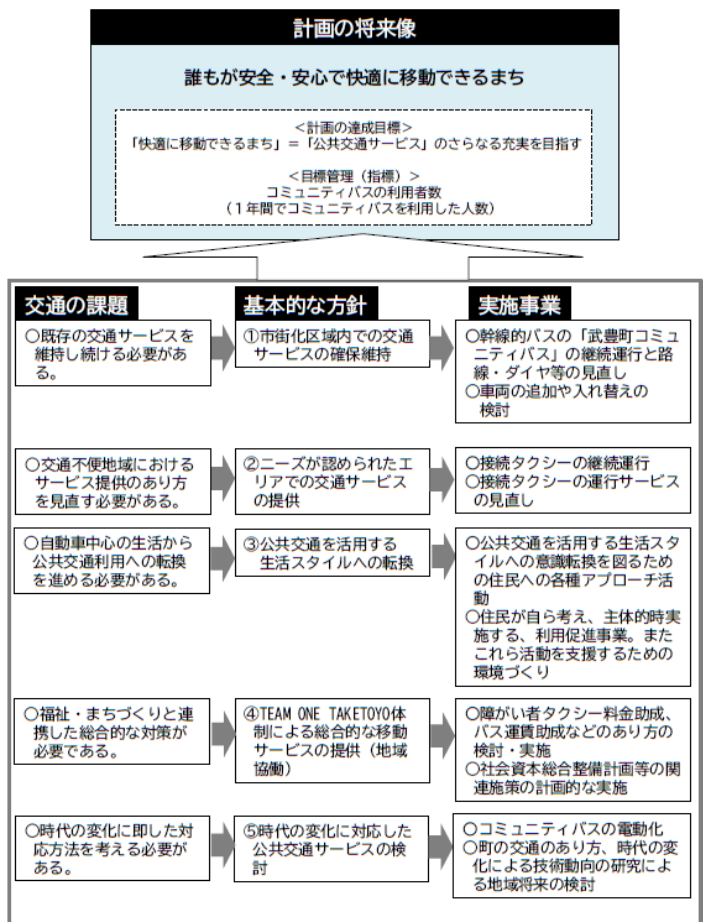
【武豊町の概要】

人口：43,535人（※令和2年国勢調査）

鉄道：JR武豊線（武豊駅）、名鉄河和線（上ヶ駅、知多武豊駅、富貴駅）

【計画策定の背景】

旧網形成計画が令和3年度末をもって計画期間満了。旧網形成計画の施策進捗状況进行评估すると共に、武豊町の現状実態や住民ニーズ、上位関連計画などを確認し、地域公共交通に関する課題・問題点を抽出した。この課題・問題点を解決する施策を検討し、令和4年4月に交通計画を策定した。（計画期間：令和4年度～令和8年度（5カ年））



1. 【Plan】協議会等を目指す地域公共交通の姿②

■ 現状の公共交通ネットワーク

○赤ルート（幹線系統）

中心部の2つの鉄道駅を基点に、主に町北部を循環する。最北端部は、半田市内の青山駅に乗り入れ、半田市の公共交通と接続する。利用者数は路線全体の2割以上が半田市への乗り入れを行っており、今後も広域的な交通網としての確保維持が必要。

○青ルート（フィーダー系統）

中心部の2つの鉄道駅を基点に、各駅及び幹線系統と接続し、主に町南部の広範囲をカバーする。令和4年10月に鉄道駅を追加するなど、ルートの見直し・利用拡大を図った。見直し後も利用状況について確認をしながら、確保維持に努めていく。

○広域ネットワーク

隣接する半田市に加え、令和4年10月より常滑市とも交通ネットワークが構築された。

半田市とは、青山駅を起点に接続。半田市立病院等には鉄道を介してネットワークを結ぶ。

常滑市とは、常滑南部・武豊線が名鉄知多武豊駅まで乗り入れており、中部国際空港・名鉄常滑線・空港線等と接続。

赤ルート停留所一覧



青ルート停留所一覧



■ 青ルートの見直し (令和4年10月)

変更前 (令和4年9月末時点)

青ルート停留所一覧



変更後 (令和4年10月から)

■ 計画に記載する「路線・ダイヤ等の見直し」を実施

青ルート停留所一覧







【変更内容】

- ・ 赤・青ルートの接続性は維持しつつ、青ルートを見直し、北部への延伸によりカバーエリアを増加。
新たな駅 (名鉄上ヶ駅) や医療機関、公共施設等と接続することにより、路線の機能・役割とサービス水準を上げる。
- ・ 左回りから右回りに変更
- ・ 運行距離: 15.1 km → 16.5 km
- ・ 停留所数: 27 → 29箇所

2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組②

● 地域公共交通計画に基づく各種事業の実施

| 取組名称 | 取組の概要 | 実施結果 | 実施結果の考察 | 基本的な方針 (地域公共交通計画内) |
|---|--|--|--|---------------------------------|
| <p>★地域交流路線 基幹バス (コミュニティバス赤・青ルート) の運行</p> <p>※国の補助路線 (地域間幹線系統・フィーダー系統)</p> | <p>コミュニティバスの確保維持</p> <p>路線・ダイヤ等の見直し</p> <p>車両の追加や入れ替えの検討</p> | <p>・前年度の運行に比べて利用者が約15%増加 (67,322人⇒77,094人)</p> <p>赤ルート・青ルートともに、過去最多の利用者数を記録</p> <p>・満足度や要望等把握のため、利用者アンケートを実施(令和5年9月中旬)※集計中</p> <p>・令和4年10月より青ルートを北部へ延伸し、ルート・ダイヤを見直し(再掲)</p> <p>・運行計画の作成、交通会議での協議等</p> <p>・住民要望に対する年末年始運行決定(令和5年3月会議)</p> <p>令和5年9月より電動バスへの車両更新(青ルート)</p> <p>※町広報紙面および令和5年8月25日にお披露目会を開催し、住民に向けても広くPR</p>  | <p>・新型コロナウイルス感染症の第5類移行までの間、「車内会話を控える・マスク着用」の車内掲示による呼びかけを実施し、安全・安心な利用に努めた。</p> <p>・青ルートの見直しをはじめとする取組みの結果、利用者数の増加に繋がった。</p> <p>・新たな駅や医療機関等と接続することにより路線の機能・役割とサービス水準を上げた。</p> <p>・年末年始運行によるサービス向上</p> <p>ゼロカーボンシティ・SDGs等の環境対策の推進、2枚ドア化による遅延防止及び経年劣化等に対する安全性の確保に繋がった。</p>  | <p>①市街化区域内での交通サービスの確保維持</p> |
| <p>地域内移動サービスである 接続タクシー制度の見直し</p> | <p>接続タクシー制度の内容見直し</p> | <p>・接続タクシー制度の見直しによる、地域内移動サービスの向上 (交通不便地域対策)</p> <p>タクシーの強みである「ドアtoドア」を生かし、利用可能範囲を「接続タクシー停留所⇔指定のコミュニティバス停留所」から「自宅⇔最寄りコミュニティバス停留所」へ変更(令和2年度、3年度に住民団体と協力・実施した住民ワークショップ及び社会実験を基にした制度見直し)</p> <p>・満足度や要望等把握のため、登録者アンケートを実施(令和5年9月中旬)※集計中</p> | <p>・制度見直し後、新たな利用が見られ始めているが、高齢者の集会等に出向くなど、今後も制度の継続的な周知が必要である。</p> <p>・住民団体と協力・作成したチラシも活用していく。</p>   | <p>②ニーズが認められたエリアでの交通サービスの提供</p> |

2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組③

● 地域公共交通計画に基づく各種事業の実施

| 取組名称 | 取組の概要 | 実施結果 | 実施結果の考察 | 基本的な方針 (地域公共交通計画内) |
|-----------------------------|---|---|---|-----------------------|
| 公共交通を活用する生活スタイルへの転換 | コミュニティバス・接続タクシー無料乗車券交付(町支援に基づく) | <ul style="list-style-type: none"> 令和元年10月より実施 自動車免許返納者・70歳以上の高齢者に対する無料乗車券の配布(令和5年度新規登録者数:311人 累計:2,278人) | <p>高齢者の外出支援による健康促進、交通安全、SDGs等の環境対策の推進が図られている。</p>  | ③公共交通を活用する生活スタイルへの転換 |
| | <p>情報発信の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 時刻表の新規作成 町広報等を通じた情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> 町広報紙面を活用した「コムバスニュース」(不定期)により、地域公共交通のメリットについて情報発信(令和5年9月号) 新たに作成した時刻表を全戸配布 時刻表裏面には令和4年10月に運行開始の常滑市コミュニティバスを含めた周辺の電車・バスの路線図を掲載し、広域的な交通ネットワークを紹介   | <ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通全体のメリットについて情報発信。 新たに作成した時刻表の全戸配布および裏面へ周辺の電車・バスの路線図を掲載したことにより、公共交通利用への転換、新規利用者の獲得に繋がった。  | |
| 武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会への活動支援 | | <ul style="list-style-type: none"> 利用促進事業として、青ルート「武豊中央公園」停留所にて下車した未就学児に対して公園で遊ぶおもちゃのプレゼント(コミュニティバス車内掲示・町内全保育園へPRチラシ配布) 主にコミュニティバス停留所付近における、おすすめスポットの募集(今後、集約し、利用促進事業への活用を予定) 産業まつりにてブースを出展し、PRおよびコミュニティバス・接続タクシーの認知度や利用有無等に関するアンケート調査を実施 | <ul style="list-style-type: none"> 未就学児を対象とした利用促進事業の実施により、未就学児及び保護者の利用に繋がった。 産業まつりによるアンケートでは、コミュニティバスは知っているが、無料乗車券の制度を知らない等の課題が見受けられたため、単発ではなく継続した情報発信やその方法の検討が必要である。   | |

2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組④

● 地域公共交通計画に基づく各種事業の実施

| 取組名称 | 取組の概要 | 実施結果 | 実施結果の考察 | 基本的な方針 (地域公共交通計画内) |
|-----------------------|------------------------|---|--|-----------------------|
| 公共交通を活用する生活スタイルへの転換 | 保育園体験乗車 | <p>・ 町内保育園が遠足等で町内移動をする際に、町コミュニティバスを活用(保育士乗車無料)(令和5年度活用実績2回)</p>  | <p>・ 遠足等での移動の際に、コミュニティバスが活用されることにより、子どものコミュニティバスへの親しみに繋げることができた。</p> <p>・ 今後も引き続き、保育園へのPRにより、活用の促進を図っていく必要がある。</p> | ③ 公共交通を活用する生活スタイルへの転換 |
| | 町内保育園児コミュニティバスぬり絵の車内掲示 | <p>・ 町内保育園児に、武豊町マスコットキャラクター「みそたろう」のコミュニティバス乗車イラストのぬり絵をしてもらい、車内へ掲示</p>  | <p>・ 町内保育園児へコミュニティバスに親しみを持ってもらうとともに、移動手段に加えた活用方法を実施できた。</p> <p>・ 利用者より、バス車内が賑やかになって良いという声を頂いた。</p> | |
| Google Maps等への情報提供の整備 | | <p>・ 令和4年10月の青ルート見直し・ダイヤ改正等の前にGTFSデータを修正し、変更後の情報の閲覧をGoogle Maps等で遅滞なく検索可能とした。</p> | <p>・ Google Maps等での情報の閲覧が可能となる事により、利用者の利便性が向上する。利用者の利便性向上により、公共交通を活用する生活スタイルへの転換の一助となる。</p> | |

2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組⑤

● 地域公共交通計画に基づく各種事業の実施

| 取組名称 | 取組の概要 | 実施結果 | 実施結果の考察 | 基本的な方針 (地域公共交通計画内) |
|-----------------------|------------------|---|--|--|
| 移動サービスの検討・関連施策の計画的な実施 | 関連施策の計画的な実施 | 土地区画整理事業に伴う駅前環境整備事業の継続検討 | 土地区画整理事業を通し、駅前でのにぎわいづくりや自転車を活用したまちづくりの展開を引き続き検討していく。 | ④ TEAM ONE TAKETOYO 体制による総合的な移動サービスの提供 |
| 時代の変化に対応した公共交通サービスの検討 | コミュニティバス電動化 | 令和5年9月より電動バスへの車両更新(青ルート)(再掲)   | <ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボンシティ・SDGs等の環境対策の推進、2枚ドア化による遅延防止及び経年劣化等に対する安全性の確保に繋がった。 ・赤ルートにおいても次期更新時での電動化を検討していく。 ・時代の変化に対応した公共交通サービスに向けた取組みを引き続き図っていく。 | ⑤ 時代の変化に対応した公共交通サービスの検討 |
| 交通のあり方などの地域将来の検討 | 交通のあり方などの地域将来の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の第5類移行までの間、「車内会話を控える・マスク着用」の車内掲示による呼びかけを実施し、安全・安心な利用に努めた。 ・広域ネットワークの強化 半田市との接続に加え、常滑市コミュニティバスグルーンの名鉄知多武豊駅乗り入れにより、広域ネットワークが強化された(令和4年10月より)  <p>名鉄知多武豊駅での接続 (赤ルート・青ルートともに接続)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・第5類移行後も着実に回復し、赤ルート・青ルートともに、過去最多の利用者数を記録。安全・安心な利用を提供する重要性を再認識した。 ・新たな広域ネットワークの形成、強化により地域の移動サービスの枠が広がった。引き続き、ホームページでの周知・時刻表の配布等の情報共有により連携を図っていく。 ・また、令和5年6月会議にて委員より発言のあった、武豊町内へのグルーン停留所追加設置要望に対しても検討していく。 | |

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

●武豊町地域公共交通計画の評価に係る事項（令和4年4月計画策定）

| 指標 | 内容 | 前年度 | 今年度 | 評価 |
|-----------------------------|---|---|---|--|
| 地域交流 路線基幹 バスの利 用者数 | 1年間で地域交流路線基幹バスを利用した人数 目標：R7年度時（4月～3月年度）72,000人 | R4年度 （R3/10～R4/9） 赤：41,667人 青：25,655人 計：67,322人 （前年比5,086人増） | R5年度 （R4/10～R5/9） 赤：50,361人 青：26,733人 計：77,094人 （前年比9,772人増） | コロナ禍から完全回復し、過去最多の利用者数を計測。交通計画の終了時点（R7年）の目標数72,000人を超える利用を達成。 |

●令和5年度 生活交通確保維持改善計画で定めた目標設定と利用実績評価＞

※計画目標はコロナ禍の影響を考慮して設定

| 令和5年度 （R04.10～R05.9） | 令和3年度 実績 | 令和4年度 実績 | 令和5年度 確保改善 計画目標 | 令和5年度 実績 | 計画 目標 | 達成 状況 |
|-------------------------|-------------|-------------|-----------------------|-------------|----------|----------|
| 幹線系統 赤ルート | 39,655人 | 41,667人 | 43,000人 | 50,361人 | 前年比増 | 達成 |
| フィーダー系統 青ルート | 22,581人 | 25,655人 | 25,000人 | 26,733人 | 前年比増 | 達成 |
| バスネットワーク全体 | 62,236人 | 67,322人 | 68,000人 | 77,094人 | 前年比増 | 達成 |
| 接続タクシー | 533人 | 606人 | 未設定 | 552人 | 前年比増 | 未達成 |

●目標値についての評価（考察）

- ネットワーク全体での利用者数は拡大しており、コロナ前のピーク時（令和元年度68,485人）を超える過去最多の利用となった。
- フィーダー系統・青ルートだけに着目すると、利用者数が令和4年度の25,655人に対して、ルート見直し後の令和5年度は26,733人と、1,078人増加し、過去最多の利用者数となった。
- 地域内移動サービスである接続タクシーは減少したものの、新たな利用が見られ始めている。今後は、住民団体と協力・作成したチラシも活用し、高齢者の集会等に出向き、継続的な周知活動が必要である。

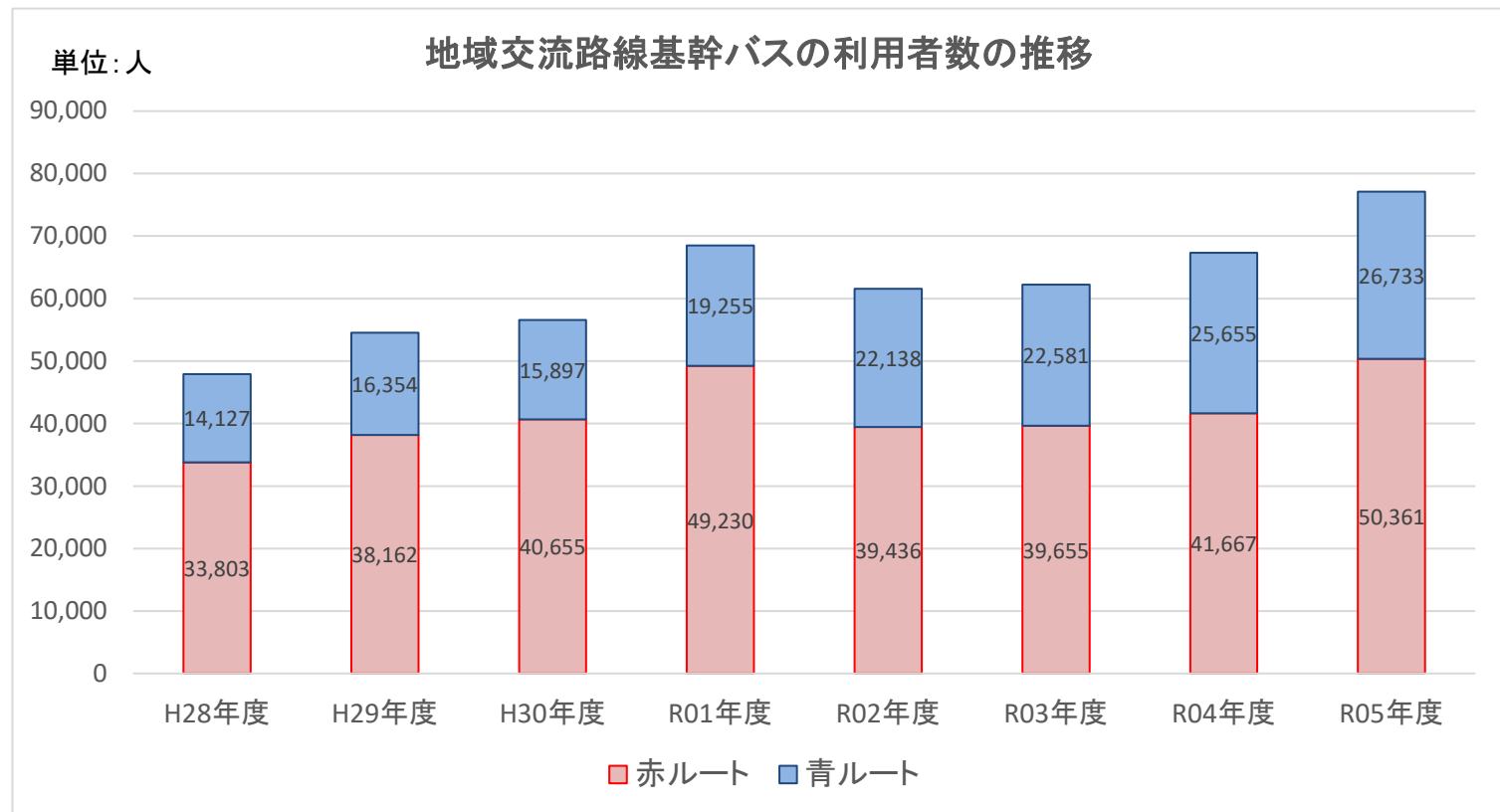
●事業収支面に関する評価

- 交通計画上での事業収支面の評価は、財政投入額が大幅に拡大しないかをモニタリングすることとし、具体数値設定はしていない。高齢者に対する無料乗車券交付事業の導入による高齢者利用割合の増加から、利用者負担の運賃収入は減少したものの、武豊町からの無料乗車分の補填計上により、全体収支は利用者増を反映し、改善している。R5年度もR4年度に比較して地域交流路線基幹バスの運賃収入は増加している。

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

●地域交流路線基幹バスの利用者数の推移（10月～9月年度）

- ・平成27年度に4ルートから現行の2ルートに再編。
- ・平成28年度の再編以降は増加基調にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の全体利用者数は大きく減少した。
- ・コロナ禍以降は徐々に回復傾向となり、過去最多であったR1年度の数値68,485人を上回り、令和5年度は大きく回復し、77,094人を達成した。赤、青ルート共に利用者数が増加し、過去最多となっている。
- ・青ルートの見直し（令和4年10月）や半田市に加え、常滑市コミュニティバスとの接続による影響が大きいと想定される。



4.【Act】 計画目標の達成に向けた今後の取組方針 の作成

<計画目標の現在の到達点>（フィーダー個別・地域交流路線基幹バス全体での評価）

フィーダー系統の青ルートについては、コロナの影響を受け、月利用者数がピーク時の約7割まで落ち込んだ。感染症対策の周知徹底、利用促進事業（生活の足を考える会）、町広報紙面への掲載等の取り組みにより、回復傾向となり、令和4年10月のルート見直しの効果もあり、令和5年度は過去最多の利用者数となった。

・赤ルートを含む地域交流路線基幹バス全体でも、令和5年度利用者数は、過去最多の数値を達成している。

■ ネットワークの拡大に関する取組

令和5年度は、半田市に加え、常滑市コミュニティバスグルーンの名鉄知多武豊駅への乗り入れが令和4年10月に開始となり、時刻表も半田市や常滑市等を含む、周辺の電車・バスの路線図を掲載し、広域的なネットワークを紹介した利用拡大を進めている。

■ 公共交通の維持に関する課題（事業収支の捉え方）

・高齢者の安全安心・外出支援等を目的として、無償化（無料乗車券の発行）により、地域交流路線基幹バスの見かけ上の収入（運賃収入）は大きく減少したが、住民の足としてサービスの確保維持が必要である。

・利用者数の増加や社会的効果などのクロスセクターベネフィットの考慮からも、公共交通の必要性は認められていると考える。公共交通の表面的な収支に捉われることなく、社会的価値を地域で共有できるよう、適切な情報発信対応が重要である。

・地域交流路線基幹バスの利用者の令和5年度実績は、過去最高を計測し、交通計画の目標値72,000人も計画期間を残して、達成することができた。利用者増による運賃収入拡大を進め、事業維持を引き続き目指す。

<今後の取組方針>

利用者数の拡大を目指したネットワーク全体の利用促進活動の実施（交通計画事業の実施）

・地域公共交通計画に位置付けた各種事業の計画的な実施を目指す。ネットワーク全体での利用者数は、過去最多を記録し、交通計画の目標を達成した。今後も、半田市や常滑市等の広域的なネットワークと乗継方法などの情報発信を継続し、エリア全体での公共交通利用者数の増加に繋がるように努めていく。

公共交通の維持に関する課題への対応

・地域交流路線基幹バス・接続タクシーの実績報告や当該評価結果を町HPを通して公開し、住民への情報発信を継続実施する。加えて、住民団体である武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の定例会の機会などを活用し、公共交通に対する住民ニーズの確認および利用促進イベントの協働実施、公共交通の社会的効果の周知等を行うことで、住民における公共交通に関する意識向上及び利用促進を目指す。

5. 直近2年間の二次評価の活用・対応状況

| 前回の二次評価結果 (5年3月10日通知) | 事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容) | 今後の対応方針 |
|--|--|--|
| <p>●令和4年度二次評価（R5/3/10通知） <評価できる取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続タクシーの運賃や利用法などの改善を図ったこと、青ルートへの延伸・ダイヤ改正、保育園の遠足にバスを活用したこと、感染症対策の周知（ポスター掲示、抗ウイルスコーティング）、GTFSデータを作成して提供したことを評価します。 ・憩いのサロンや生活の足を考える会とともに公共交通の利用に向けた説明を行ったり、停留所のベンチ製作をしたりしたことを評価します。 <p><期待する取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青ルートの見直し及び接続タクシーの制度の見直しについて効果や影響について検証し、必要な改善及び効果的な周知について検証されるよう期待します。 ・知多武豊駅に乗り入れる周辺自治体のコミュニティバス路線の動向について、地域間の交通ネットワーク強化を意識した情報交換、連携へとつながることを期待します。 ・駅前環境整備事業に伴う道路の拡幅等コミュニティバス運行に関連する計画を注視しつつ、今後の取組を進められることを期待します。 ・地域住民との連携を深め、SNSなど新しい情報発信の方法について幅広く検討し、公共交通に携わる関係者が観光・福祉・商業など多方面に広がることを期待します。 | <p>●青ルート及び接続タクシー制度の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青ルートについては、見直し後の利用が増え、過去最多の利用者数となった。 ・接続タクシー制度の見直しについては、減少したものの、新たな利用が見られ始めている。 <p>●周辺自治体のコミュニティバス路線の動向について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺自治体と交通ネットワーク強化を意識した情報交換や連携を図った。 ・時刻表裏面には、周辺の電車・バスの路線図を掲載し、広域的な交通ネットワークを紹介した。 <p>●駅前環境整備事業に伴う道路の拡幅等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連部署と計画の進捗状況等について、情報共有を図った。 <p>●SNSなど新しい情報発信の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町広報紙面を活用した「コミュバスニュース」（不定期）により、地域公共交通のメリットについて情報発信をした。 ・電動バスのお披露目会の際には、関係者だけではなく、住民に対しても広くPRするために、町HPに加え、SNSでも開催について情報発信した。 | <p>●交通会議でのPDCA</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記の事業評価や各種事業の取組みについて、相互に共有し、必要に応じて事業改善を行う。 <p>●コミュニティバス・接続タクシー事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスについては、過去最多の利用者数となったが、利用状況を確認しつつ、利用促進を図る。 ・接続タクシーについても、利用状況を確認しつつ、高齢者の集会等に出向き、継続的な周知活動を実施する。 ・コミュニティバス利用者および接続タクシー登録者へのアンケート結果を踏まえ、今後の取組みについて検討していく。 <p>●周辺自治体等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、交通ネットワーク強化を意識した情報交換や連携を図る。 ・武豊町内へのグリーン停留所追加設置要望に対しても検討していく。 <p>●コミュニティバス運行に関連する計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連する計画を注視しつつ、今後の取組みについて検討していく。 <p>●SNSなど新しい情報発信方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の情報発信ツールだけではなく、時代の変化を意識した情報発信に努め、公共交通について広くPRする。 |

5. 直近2年間の二次評価の活用・対応状況

| 前々回の二次評価結果 (4年3月10日通知) | 事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容) | 今後の対応方針 |
|---|--|---|
| <p>●令和3年度二次評価（R4/3/10通知） <評価できる取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続タクシー事業の見直しに関する住民ワークショップを開催し、バスを補完するタクシー事業について住民とともに検討を行ったことを評価します。 ・南部青ルート路線延伸、広報による免許返納の周知、高齢者を対象とした無料乗車券の交付に際してバスの利用方法の説明、住民ワークショップの開催などの取組によりコロナ禍においても利用者が増加したことを評価します。 <p><期待する取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期にわたって持続可能な地域公共交通ネットワークの形成に向けては、次期地域公共交通計画を策定する中で、今後の方針や具体的な事業を的確に整理するよう期待します。 ・地域間幹線系統である赤ルートについては、新型コロナウイルスの影響もあり、2年連続で平均乗車密度や収支率の低下がみられますので、次期地域公共交通計画に基づいた再編や、今後の利用促進に期待します。 | <p>●新しい計画の策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月に「武豊町地域公共交通計画」を策定しました。旧網形成計画を踏襲しつつも、近隣市町との広域ネットワークを考慮した計画とし、具体的な10の事業、数値目標の設定を行った。 <p>●持続可能な事業形成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通計画の将来像「誰もが安全・安心で快適に移動できるまち」の形成に向け、令和元年より実施したコミュニティバス・接続タクシーの高齢者無料乗車券交付事業を継続して実施している。 ・新型コロナウイルスの影響による利用者減への歯止めをかけ、安全安心な利用の呼び掛けを継続することにより、利用回復に繋がり、令和4年度利用者数は、コロナ前のピーク水準（令和元年度）の9割近くまで回復した。 ・交通計画に基づいた再編として、令和4年10月より青ルートの見直し、接続タクシー制度の見直し（利便性向上）を実施し、ネットワーク全体の機能向上を図る。 | <p>●計画に基づく事業推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年10月の改編後も継続した利用実績の確認を行い、適宜、停留所の見直し等により、サービスの確保維持に取り組めます。 ・地域交流路線基幹バス車両の電動化、公共交通利用への転換などに取り組み、社会的効果を考慮した事業推進を目指します。 <p>●PDCAの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年10月の見直し後も、毎年利用実態を確認し、見直しなどを行います。交通計画に記載する、目標を達成するために行う事業を、適切に推進し、必要に応じて改善もしていきます。 |

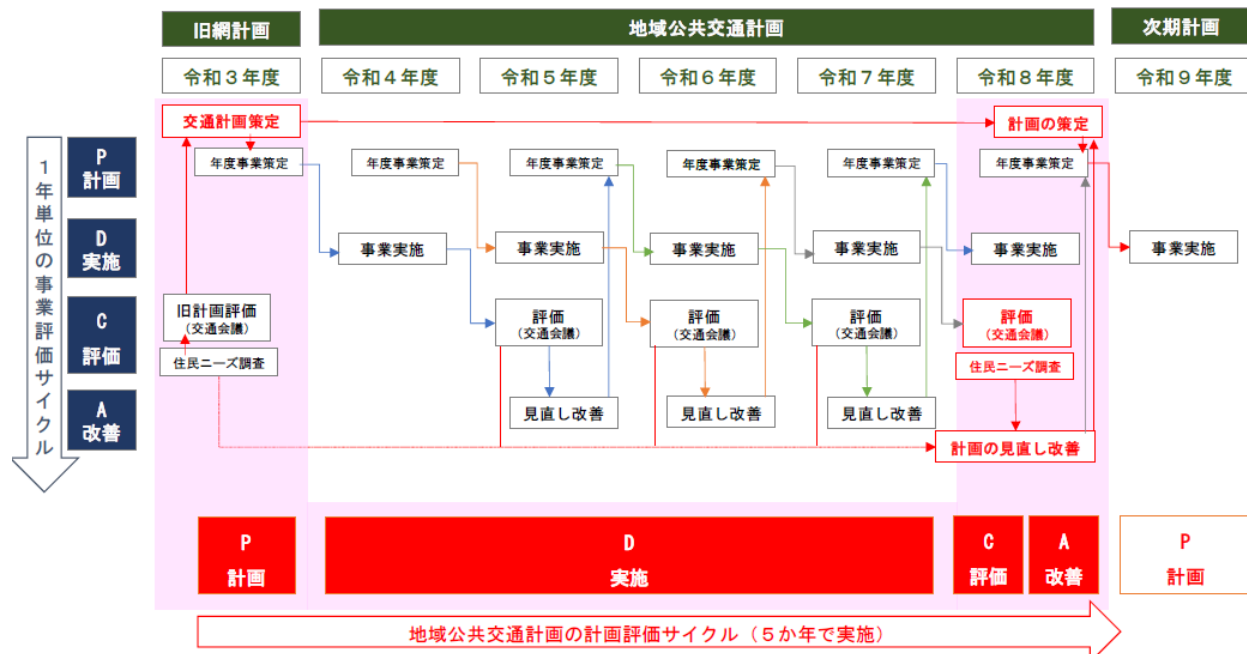
6. 計画・評価の推進体制

<PDCAの進め方>

- ・地域公共交通計画の進行管理は、計画期間の5カ年を通してPDCAを行う。
- ・各年度は、地域公共交通会議において各年度事業の計画を設定し、事業の進捗状況と計画の数値目標である利用者数等を通して、計画の進捗を評価する。

<協議会の開催状況>

- ・年間3回のペースで開催。
- ・交通計画を策定し、年度事業の協議、事業進捗の評価・確認を進めている。



| 回数(実施日) | 進捗管理に関する主な報告・協議事項 | 主な実施内容 |
|-----------------------|--|---------------------------------------|
| 第42回会議 (令和4年12月9日) | ・令和4年度の自己評価案及び地域公共交通計画の評価結果案について | 令和4年度の自己評価及び地域公共交通計画の評価結果案の協議。 |
| 第43回会議 (令和5年3月29日) | ・令和4年度の二次評価結果の確認 ・赤ルート「武豊高校東」停留所の移設について ・令和5年度事業計画案の協議 ・年未年始の運行について | 令和4年度の二次評価結果の共有と令和5年度の事業計画に係る協議。 |
| 第44回会議 (令和5年6月26日) | ・令和4年度の事業報告・決算報告 ・利用者アンケートの調査実施計画 ・令和6年度確保維持改善計画(案) | 令和6年度の確保維持改善計画案の協議とフィーダー系統の目標設定に係る協議。 |